

多摩のくらし～歳時記 ～お花見(変遷とその催し方)～

中国では牡丹、西欧ではバラの鑑賞が盛んであるようですが、日本人は桜の花に対して、鑑賞というよりは祭りのときのように心を騒がせるようです。桜前線の北上(開花予想)がニュースになるのを見てもよくわかるでしょう。花見は春を彩る年中行事としてすっかり定着しています。花を客観的に眺めるのではなく、花の下に入って花の精気に直接触れようとします。そして、その下で宴を開くような風習は諸外国にはないようです。いろいろな花に敏感な日本人、例えば、万葉集には萩が百四十一首、梅が百十八首詠まれているのに、桜は四十四首しか登場しておりません。これは、古くは春の花見の対象が梅や桃であったためだといわれています。しかし、平安時代以降、宮廷や貴族の催す花見の宴では梅に代わって桜が次第に上がってきたといわれています。これは、中国からの新品種の輸入や品種改良がなされ、桜は名実ともに春の花の代表になったためといわれています。そして、鎌倉初期の西行は桜の詩人と呼ばれますが、「ねがはくは 花のしたにて 春死なん そのきさらぎの望月のころ」など山家集に百余首の桜の歌を残されており、一方日本には古くから全国的に山遊びの行事が多く、その習俗が上流社会の花見の宴を大衆的な花見へと展開される

素地になったようです。山遊びは春の農作に先立って田の神を迎えるために家を空け、山野に遊ぶ行事であったそうです。これが行われた節目である四月八日や、陰暦の三月三日などを花見の日としている地方も多いそうです。花見が現在のような大衆参加の一大行事となったのは、江戸が百万都市となり、上野の山に大挙して押しかけるようになってからだといわれています。桜の名所には多くの露天が登場します。昔は、うどん・そば・饅頭・団子・焼餅などを売る店が、ズラリと並んで大変なにぎわいを見せたそうです。近年ではこれにおでん・焼きそば・缶ビールにジュース・ワインなど次々と進み、そしてお寿司に焼鳥など豊かな時代を人々はイベントとして、老いも若きも皆、桜の期を楽しんでいます。多摩区の桜もいろいろなところで人々の心を豊かにしてくれます。二ヶ領の桜も地域の方のご努力により、ポンボリに明かりのついた頃の川面の桜は絶妙な美しさで一時期食を忘れます。だがしかし、豊臣秀吉の醍醐の花見はその規模と壮麗さにおいて、今なお史上もっとも有名なものであったといわれています。(川口キン)



「歳時記」は今号が最終回です。読者の皆さま、長年に渡ってのご愛読、本当にありがとうございました。

多摩区の明日に向かって 第3回 向ヶ丘遊園の跡地利用について

1927(昭和2)年、小田急電鉄の開業に併せて開園した向ヶ丘遊園は、多摩区のみならず首都圏西部の子どもたちに親しまれてきましたが、時代の流れにより2002(平成14)年閉園となりました。この際川崎市に引き継がれた生田緑地ばら苑と2011(平成23)年開業した藤子・F・不二雄ミュージアムを除いて、跡地はそのまま再開発を待っている状況です。2004(平成16)年、小田急電鉄と川崎市の間で基本合意が交わされ、小田急電鉄は当初2007年(高層850戸、2775人)、改定2010年(低層220戸、770人)と2度にわたり計画を公表、環境影響評価の手続きを受けましたが、2014年、時代(需給・コスト)の変化を受け、自ら改定計画を取り下げました。昨年2016年11月には小田急電鉄と川崎市の間でまちづく

りに関する包括連携協定が結ばれ、これに沿って本件につきましても緑を守る再々計画が待たれています。この間閉園時に、地元住民により結成された「向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求めると」は活動を絶やさず続け、地域のため、積極的に意見・対案を述べてこられました。詳しくは、(<http://plaza.eco.coocan.jp/>)「向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求めると」まで。[文:藤田]



大階段の今昔

このシリーズでは、現在多摩区内で進行中、または進行予定のプロジェクトを随時取り上げて行く予定です。

編集後記

安全安心で豊かな生活が送れるよう、しなければならないことがたくさんあります。この「多摩区まちづくり協議会NEWS」にはグループで活動している方々の紹介がいっぱいあります。自分たちの「まち」を良くするために何をしたら良いか、そのヒントになれば幸いです。(児井)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



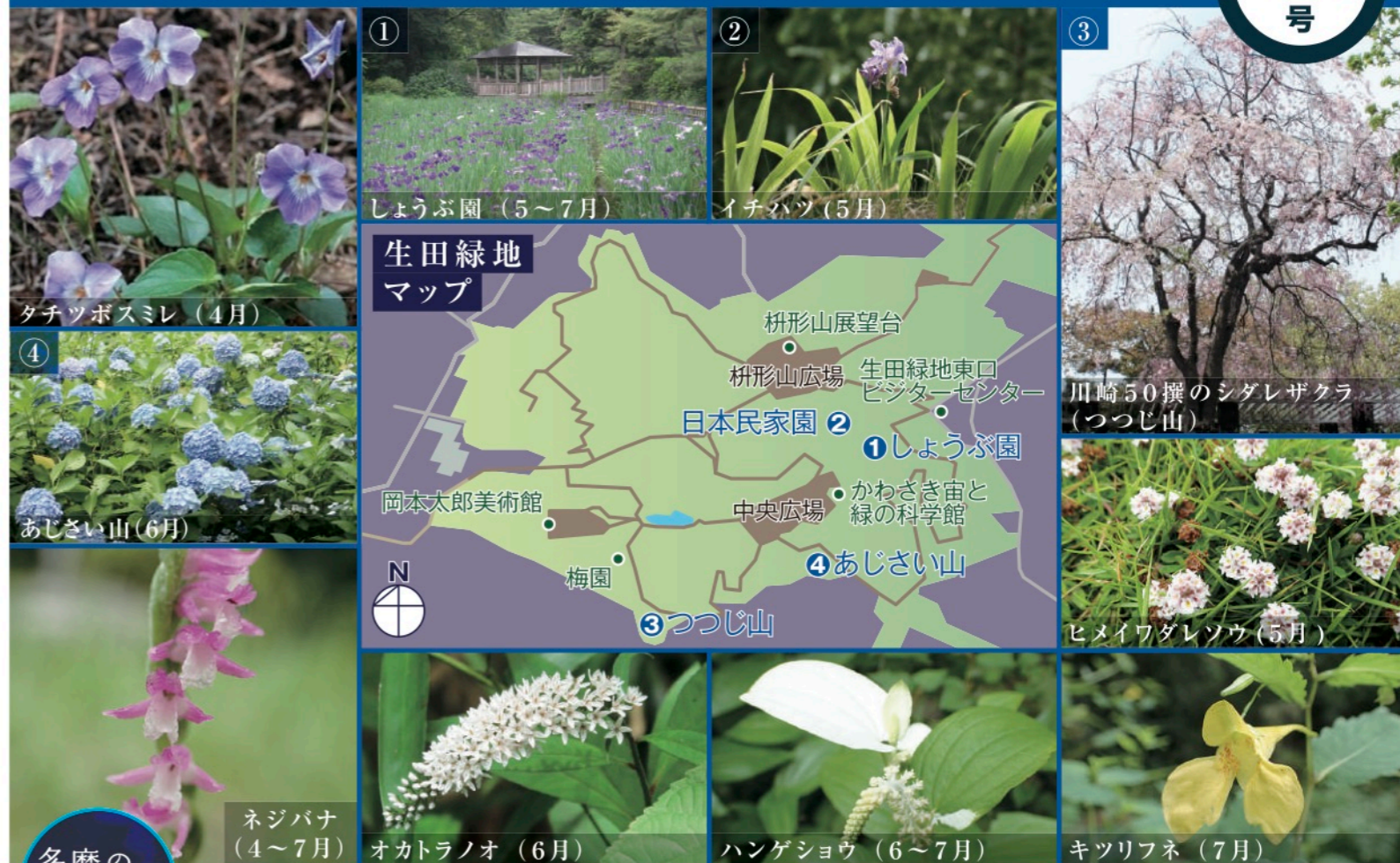
■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyo.com/>

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2017年
(平成29年)3月

55
号



多摩の風景

春の生田緑地を歩きましょう

【記事：古川】

ピクニックタウン多摩区を代表する「生田緑地」は、生田緑地運営共同事業体(4社)で管理運営、市民活動団体やボランティアの協力によって広大な自然が守られています。2016年11月には、生田緑地の魅力向上を目指している協働のパークマネジメントの取り組みが高く評価され、当事業体と生田緑地マネジメント会議、市整備事務所の3団体は「第36回緑の都市賞(公益財団法人都市緑化機構主催)」の『緑の市民協働部門』で、最高賞の国土交通大臣賞を受賞しました。

豊かな自然を守り育てるためには、雑木林に手を入れ、枯れた枝や折れた枝を除き、下草刈りするなどの地道な作業が必要で、太陽の光が林床まで届くようになって、ようやく顔を出す植物もあります。園内あちらこちらに顔を見せる野草も、このような市民の活動なくしては観る事ができないといっても過言ではありません。

これからの季節、ウォーキングや散策の道端で、幾種類もの野草に出会うことでしょう。可愛い花も「眺めるだけ」「写すだけ」。決して抜いたり、折ったり、踏みつけたりしないように、みんなでこの自然を大切に、豊かな多摩区の自然を守っていききたいものです。

+ 活動 雑木林を育てて20年



生田緑地のつつじ山にて

「生田緑地の雑木林を育てる会(代表白澤光代氏)」は、放置された里山状態の手入れを目的に1998年に発足、本年20年目を迎えます。(会員現在25名)月2回の活動の中で、除伐や下草刈り、ツツジやアジサイの花後の剪定(せんてい)などを行っています。体験参加はいつでも受け入れていただいておりますので、下記を参照してください。
(m.facebook.com/tigoyuri)

多摩区のまちを元気にするまちづくりカッドウを紹介します!

多摩区まちづくり協議会 活動発表会

まちカツ!

♪ 広げようみんなの力! 多摩のまちづくり ♪

平成 28 年度多摩区まちづくり協議会の活動発表会「まちカツ!」が、2月11日(土)に多摩区総合庁舎 11 階で開かれました。会場には約 100 人の参加者が集まり、賑わいの溢れる3時間半でした。

また、2月8日(水)から15日(水)までのアトリウムポスター展示には21 団体が参加しました。



葛生会長

多摩区まちづくり協議会の第5期前半活動報告



【ミッション① まちの課題抽出とその解決】

ミッション①の実現に向けた主な担い手はプロジェクトです。3期から継続の「多摩エコスタイル」、自立に向け準備を進める「マグネット多摩」、そして「たまむすび～あそび場支援プラットフォーム～」が課題解決にあたっています(3、4ページ参照)。

【ミッション② 中間支援的機能の充実】

ミッション②は、「まちカツ!」の一環であるポスター展やポスターセッション、学びの場を提供する「多摩★まち大学」、活動発表と交流の場を提供する「多摩★まち Cafe」、「広報誌」、さらには各プロジェクトでも市民活動団体の皆さまを応援する活動を取り入れ、中間支援的機能の拡充を図っています。主な活動を次に示します。



多摩★まち Cafe

「たまむすび」との共同で「食を通じた地域の人々とのつながり」をテーマとした企画を実施した他、年度末には「地域デビューひろば」を実施予定。



他都市視察研修

住民による自主的な活動が盛んな東京都国立市を訪れ、商店主・学生・市民・行政が一体となった取り組みや、様々なテーマ型のコミュニティスペースを視察しました。



多摩★まち大学

昨年度、先取りの連続講座を実施した「多摩区の地域包括ケアシステム」に引き続き着目し、本年度も4回の連続講座を実施、関係する行政・団体等の方々にお話を聞きました。



広報誌「私たちのまちづくり」

年4回発行いたしました。まち協の活動の他に多摩区の魅力や活動団体の紹介をしています。また身近に取っていただくために、郵便局や銀行の書架に置いていただいています。



第5期まちづくり協議会の活動を通じて

昨年5月、第5期まちづくり協議会の初年度活動が新たな委員の方々を迎え、総勢35名の委員の参画でスタートしました。

本年度も多摩★まち Cafe、多摩★まち大学を実施した他、新たな試みとして、「多摩区民祭」やかわさき市民活動センターが主催する「ごえん楽市」に出展し、多くの区民・市民の皆さまへ当協議会並びに各プロジェクトの運営・活動内容の広報・周知活動を実施しました。また、第4期より継続中の3プロジェクト「多摩エコスタイル」「マグネット多摩」「たまむすび」もそれぞれの活動を通して地域の課題解決並びに市民活動団体への中間支援を図り、その成果を達成しつつあります。

引き続き、区民の皆さま及び市民活動団体の皆さまと連携・協働を図りながら、まちの課題抽出とその解決に向け、活動を進めて参りますので、今後とも関係各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



多摩エコスタイルの第5期前半活動報告

まち協

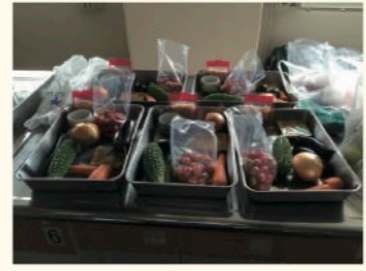


発表：渡部委員

多摩エコスタイルは、多摩区にエコなライフスタイルを広め、子どもたちにより良い環境を引き継ぐことを目標として活動しています。5年目となる今年度もゴーヤの育て方講習会や季節の野菜でエコクッキング講座(使う野菜を地元の畑に収穫に行きます)など、エコライフをアピールする活動を継続しました。



登戸東通り商店街と区役所通り登栄会商店街と一緒にしている「商店街エコ」活動は、お買い物でエコに参加できる「エコポイントカード」が少しずつ普及してきて、昨年はこの活動で川崎市の「第5回スマートライフスタイル大賞」の優秀賞をいただきました。参加してくださっているお店や区民の皆さまのおかげです。今後もさらなる普及を目指していきます。商店街の空き地で実施してきたエコイベントは、



自分で取ってきた野菜を調理します 毎日の買物や調理をエコに!

登戸地区でまちおこしの活動をしている「のぼりとゆうえん隊」をはじめ、他の皆さまが参加するようになって「登戸まちなか遊縁地」に発展し、エコカフェやワークショップを実施しました。

これからも定期的に開催する予定ですので、乞うご期待!さらにエコライフを進める方法を考えながら活動を続けていきます。皆さんもぜひ参加してください!



「登戸まちなか遊縁地」はこの看板が目印!



マグネット多摩の第5期前半活動報告

まち協



発表：岡本委員

マグネット多摩が提供している地域の活動団体のチラシ情報をどのようにしたらもっと利用者にとって使いやすくなるかを考えながら、専修大学の遠山ゼミの学生さんたちと1年掛けて Web サイトの改修を行ってきました。

これまでは、チラシをすべてそのまま掲載していましたが、新たに「子育て」「若者」「介護・支援」「地域活動」の4つのカテゴリに分けて、利用者が知りたい情報を素早く見つけられるように工夫したり、画像情報をふんだんに使うことで Web サイトの印象を変えたりしてみました。ご覧いただいた皆さまはどのようにお感じになられていらっしゃいますか?

なお、マグネット多摩は、来年度一般社団法人化して、多摩区まちづくり協議会のプロジェクトから独立する予定です。チラシギャラリーの無料サービスは、そのまま継続していきます。今後とも、よろしく願い致します。



子育て支援連携事業全国会議



ごえん楽市での展示



多摩区民祭での展示

マグネット多摩のチラシギャラリー：<http://tamaku-machikyo.com/magnet-tama/gallery/>



たまむすびの第5期前半活動報告



発表：濱田委員

今年度のたまむすび～遊び場支援プラットフォーム～プロジェクトは、2年半の活動の成果が少しずつ実を結んできた1年となりました。

様々な団体とのコラボ活動として、「生田中学校文化体験教室」「ポレポレたま食堂」「七福神すごろく作り」を実施。「食生活改善推進委員」「おりづるの会」「登戸新川町会」「多摩区観光協会」「まちのオドモヤ たまgo en」とのコラボができました。多摩区内のこども食堂の事前調査などにより、研修企画部との『多摩★まちCafé』も実施することができました。

また、依頼を受け「人材派遣」や「企画参加」「企画出店」など、地域の団体への協力や、子どもたちが自然の中で思いっきり遊べる場所の調査として、多摩川での活動や、多摩川を活動拠点としている団体へのヒアリングなどもできました。

『子どもの外遊び』や『イベント』を通していろいろな団体や個人をむすぶ【つながりや場（プラットフォーム）】ができつつあります。



作成した七福神すごろく



つながりや場が広がっています

最近の活動

- 3月9日（木）日本体育大学教授 野井真吾氏の講演会と交流会
 - ・第1部 講演＆フリートークによる交流（多摩区役所11階会議室）
 - ・第2部 子どもの身体を作る食事を通して交流（多摩市民館5階料理室）
- 3月19日（日）焼きいも交流会 日向山にて（雨天時20日に順延）
 - ・焼きいもや遊びを通して団体同士の交流やPR

講演 データが語る「コミュニティ」と「つながり」の重要性



軽妙な語り口調で話しを進めていく呉哲煥氏

「すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会」の実現を使命に、NPO・市民活動・サークル向けのマネジメント支援サービスを多数提供するNPO法人CRファクトリーを設立し、現在代表理事をつとめる、呉哲煥（ごてつあき）氏をお招きし、膨大なデータをもとに、地域における「コミュニティ」や「つながり」の重要性について講演いただきました。

前半はなぜ今「コミュニティ」なのかについて、職場でのつながり、血縁関係の中でのつながり、地域の中でのつながりがそれぞれ、時代とともに希薄化・弱体化し、個人の孤立が生まれてきており、つなぎ直すことの重要性を語っていただきました。

後半は、つながりを生み出すことによる効果として、「幸福度の上昇」、地域の中での「教育レベルの上昇」「犯罪率の低下」等を挙げられました。

地域活動を日々頑張っている皆さんの動きが、様々なプラスの効果を生み出すことを目の当たりにし、会場は終始驚きの声に包まれていました。



地域で日々活動している皆さんは興味深々

まちカツ！ポスターセッション&交流タイム



3分の中で創意工夫のプレゼンテーション



ベストプレゼンたま賞は朗読風のプレゼン



今年も多くの人・団体が交流していました

今年度の「まちカツ！」は例年とは構成を変え、前半に「ポスターセッション」を実施しました。今年は21団体を3グループに分けて、各団体3分ずつの活動紹介と9分間の交流タイムをグループごとに行いました。これまで以上に動きのあるプレゼンテーションが多く、終始活気にあふれていました。

参加者が一番印象に残った団体に投票する「ベストプレゼンたま賞」は、「かわさきの安全でおいしい水道水を守る会」に輝きました。プレゼンターお二人による朗読劇のような語り口調は、訴えかける気持ちの伝わってくる素敵なものでした。

まちカツ！ポスター展示・地域活動団体紹介

「まちカツ！」の会期前後、2月8日（水）から2月15日（水）まで、毎年恒例の、多摩区役所1階アトリウムでの各団体の活動発表ポスター展示を実施しました。

新たな団体も迎えた今回の展示、多摩区内での地域活動の幅の広さに驚かれた方も多いのではないのでしょうか。



出典団体一覧

- 多摩区まちづくり協議会
 - 多摩エコスタイル
 - マグネット多摩
 - たまむすび ～遊び場支援プラットフォーム～
- まちのオドモヤ たまgo en
- 地域通貨たま運営委員会
- クローバーの会
- 「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会
- NPO法人 ぐらす・かわさき
- 長尾台コミュニティバス利用者協議会
- 新川崎放送協会
- チーム・たま
- 多摩区地域教育会議
- 登戸研究所保存の会
- 公益財団法人 かわさき市民活動センター
- 一般財団法人 かわさき市民しきん
- インターネット川崎ガイド
- 稲田郷土史会
- 多摩区役所コンテナ花壇の会
- スタート
- かわさきの安全でおいしい水道水を守る会
- れもんぐらす
- NPO法人 多摩川エコミュージアム
- 生田地区すこやか活動推進委員会
- こども食堂 home
(順不同)

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

新

「観光ガイドブックはなもす」 「多摩区ガイドマップ」

情報

多摩区観光協会では、区内の遊びどころやグルメスポットが満載のガイドブック「はなもす」と、見やすい地図や各種お役立ち情報が掲載された「多摩区ガイドマップ」をリニューアルしました。今回発行の「はなもす」は日本民家園開園50周年特集号として、日本のふるさととも言える日本民家園の魅力をあますところなくご紹介しています。これから暖くなる季節。外出時のお供にぜひ！
今年も誌面リニューアル！



日向山うるわし会 スマートライフスタイル 優秀賞受賞

記事 藤田

平成14年設立、多摩の里山「日向山の森（東生田緑地）」を次代に残すことを目標に、地道に、毎月1回の保
全活動、随時の自然教育を行っています。毎年1月の「ひなた山ほっこ祭」には小学生など大勢が参加。昨年11月にはスマートライフスタイル大賞優秀賞が福田市長から大江原代表に授与されました。
詳しくは：<https://sites.google.com/site/uruwashikai/>



CC川崎エコ会議シンポジウムにて

多摩川桜のコンサート

記事 藤田

多摩川畔に咲き誇る桜の下、にぎやかに開催されます。出演は、和太鼓「里空」、幼児サロントミック、篠笛「せせらぎ」多摩高校合唱部、稲田中学校チアダンス部、に加え、川崎の歌姫「桜井純恵」さん。併せて、多摩川源流「小菅の湯」の足湯もお楽しみいただけます。

【日時】4月1日（土）12時～15時

【場所】ニヶ領せせらぎ館
前広場（入場無料）

【詳細】<http://www.seseragikan.com/>

翌2日（日）宿河原駅近くで、午後1時より「桜まつり」。



チアダンス部による華麗な演技

多摩ふれあいまつり

記事 小澤

6月18日（日）、多摩市民館にて、第17回「わたしとあなたとこの街」をテーマに多摩ふれあいまつりが開催されます。



スタンプラリーに挑戦！

この催しは、多摩区内外の障害のある人（当事者）や関係者、団体、市民が参加し「共に支え生きる社会を創造する」もので、中学生や高校生・大学生等若い多くのボランティアを募り運営されています。当日、鑑賞・観覧・参加など、開催時間内は大勢の人でにぎわいます。あなたもぜひ醍醐味を味わってみてください。

長尾台コミュニティバス 「あじさい号」3年目

記事 児井

平成26年12月に走り始めた長尾台コミュニティバス「あじさい号」は3年目に入り、利用者も順調に増えています。昨年12月3日（土）、運行2周年の意見交換会とイベントが長尾会館で行われました。利用者協会による利用実態調査結果の報告などをもとに、運行継続をより確実なものにしようと利用者から多くの提案などが出されました。ネパール出身で長尾台に住む住民によるエベレスト登頂の画像紹介もありました。



久地駅前バス停の「あじさい号」

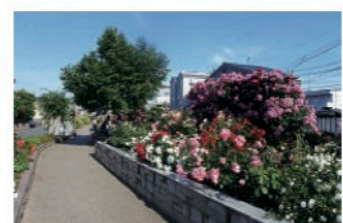
ばら苑アクセスロード

記事 藤田

向ヶ丘遊園駅から生田緑地ばら苑、藤子・F・不二雄ミュージアムへの間、途中ニヶ領用水に沿ってよく整備された「五ヶ村堀緑地」・「ばら苑アクセスロード」では5月、見事なツツジとバラの散歩道となり、ここだけでも訪れて見たいと思います。



この道は以前、向ヶ丘遊園に向かうモノレールが通った跡、遠く昔、子どもの頃を想う方々もおられましよう。



上：五ヶ村堀緑地 下：ばら苑アクセスロード

多摩区の
子育て団体！

りぷりんと・かわさき

記事 小澤

子どもから大人まで、絵本の読み聞かせをするシニアボランティア団体です。創設は平成18年、現在の会員数は53名で、昨年資格講座を実施しましたので増員いたします。



活動拠点としては、区内の保育園・小学校・中学校・高齢者施設などで、次世代を担う子どもから大人まで絵本の面白さ、ぬくもり、楽しさを伝える活動です。読み聞かせ終了後の多くのうれしい声や激励などのお便りが、会員の意欲や喜び、認知症の防波堤になっているので、今後もますます活動の場を拡大していきます。

まちカッ活動団体

こども食堂 home

記事 古川

「子どもがまん中」の食卓のため、子どもだけでも「あんしん」して行ける、おいしいご飯を安く、楽しく食べられる食堂「こども食堂 home（代表 藪悟氏）」が、平成28年11月にオープンしました。晩ご飯が子どもだけになってしまう時、疲れてご飯の用意が出来ない時など、一度ご参加ください。



一緒においしいご飯を食べようよ

【開催日】毎月1回第4火曜日午後6時～8時

【場所】カフェたまりばー（宿河原6-26-24）

【参加費】子ども200円（高校生位まで）大人500円

（割引制度あり）※賛助会員・寄付を募集しています。

【問合せ】kodomohome92@gmail.com

まちカッ活動団体

スタート

記事 小澤

「安心」という声が若者から大人まで誰もが求め、叫ばれ、語られていることから、5人のスタッフで立ち上げ、この6月で2年目となる「スタート」です。

1. 若者が安心して居られる場所
2. 子育て中に安心して休める場所
3. 不登校・ひきこもり・ニートについて話せる場所

をスローガンとして、月1、2回、自由に語らう時間を共有し、ある時は食事をしながら人の心のやさしさ、安心さを求め合う出会いの場です。実施場所は毎回ブログ（<http://ibasho-start.hatenablog.com/entry/2016/05/09/102715>）でお知らせしています。



まちカッ活動団体

まちのオドモヤ たまご en

記事 児井

誰でも主役になれる企画を打ち出し、2ヶ月に1度くらい集まったり出かけたりしているグループです。さまざまな活動を通じて非日常的な体験をし、創造という視点から、何か新しいことに気づいたり、発見したりすることをめざしています。まちの方々ひとりひとりの価値観や創造性を尊重し、皆で共鳴する「場」を作っていきます。一緒にやってみよう方々、団体さんとの協働をお待ちしています。



創造的な活動を通して繋がります

まち協及び区内のイベント情報（5月～6月）

●●●まちづくり協議会のイベント●●●

5/24（水）平成29年度多摩区まちづくり協議会・総会
18時～ @多摩区総合庁舎11階会議室

●●●多摩区内のオススメイベント●●●

5月中旬 生田緑地ばら苑開放 @生田緑地

6/1（木）アユ釣り解禁 @多摩川

6/18（日）長尾の里あじさいまつり @妙楽寺

6/24（土）11時～ 生田緑地ピクニックデー @生田緑地中央広場他

6/24（土）12時～ 生田緑地コンサート
@生田緑地かわさき宙（そら）と緑の科学館前広場

6月中旬 多摩区ふれあいまつり @多摩区内

※ イベントの内容は変更になる場合があります。